

戦略計画 15

脱炭素社会の実現に向けた総合的な環境施策の展開

令和 5 年度末の目標

2050 年までの脱炭素社会の実現に向け、区民・事業者と協働して、総合的な環境施策を展開

これまでの主な取組

1 避難拠点のエネルギーセキュリティの確保

避難拠点（区立小・中学校）の緊急電源として活用するため、公用車に EV（電気自動車）10 台と FCV（燃料電池自動車）2 台を導入しました。また、自動車メーカーおよび販売事業者 3 社と、災害時における電気自動車等の提供について協定を締結するとともに、区民が所有する EV 等を活用する「災害時協力登録車制度」を創設しました。

5 校の避難拠点に太陽光発電設備と蓄電池を設置しました。

2 自立分散型エネルギー社会への取組の推進

これまでに、家庭や事業所が設置した太陽光発電設備等 9,625 件に補助を行い、13,007t-CO₂ の温室効果ガスを削減しました。

また、順天堂練馬病院で発電した電力の一部を災害時に隣接する医療救護所（石神井東中学校）へ供給できるよう「地域コジェネレーションシステム」を令和 2 年度に整備しました。

北保健相談所と光が丘区民センターに太陽光発電設備と蓄電池を設置しました。光が丘区民センターは、分散型・再生可能エネルギー設備の普及実証モデル事業として位置付けています。

3 省エネルギーへの取組

区立施設 23 か所で使用する電力を、清掃工場の再生可能エネルギーを活用した電力に切り替えました。

環境イベントや講演会、エコライフチェックなどを通じ、省エネ機器や省エネ型ライフスタイルの普及啓発を行いました。

新型コロナウイルス感染拡大への対応

環境講演会の Web 配信や e ラーニング形式の学習コンテンツの活用、SNS による情報発信などにより、環境教育・啓発の場を継続的に確保しました。

今後の課題

国は、2050 年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにする「脱炭素社会」の実現を目指し、2030 年度までに温室効果ガスを 2013 年度の値から 46%削減する目標を表明しました。区も、目標達成に向けて環境施策を総合的に展開し、区民・事業者との協働を更に推進する必要があります。

令和 3 年 6 月のプラスチック資源循環促進法の制定を受けて、プラスチック廃棄物の排出抑制、再資源化等の取組の強化が求められています。

令和 4・5 年度の主な取組

1 脱炭素社会の実現に向けた環境基本計画の策定【新規】

2050 年までの脱炭素社会の実現に向け、「環境基本計画 2020」に「エネルギービジョン」などの既存計画も組み入れ、新たな計画を策定します。

2 区民や事業者との協働による脱炭素の取組の推進【充実】

家庭・業務部門の温室効果ガスの排出削減を加速するため、再生可能エネルギー等の導入にかかる補助制度をより効果が高まるように見直します。

区民、地域、学校、事業者、民間団体等、あらゆる主体との協働により環境教育・啓発を推進し、脱炭素の行動につなげます。

3 先進技術の導入・運用【充実】

順天堂練馬病院に続き、移転・改築後の練馬光が丘病院と光が丘秋の陽小学校との間に「地域コジェネレーションシステム」を整備します。

令和 3 年度から田柄特別養護老人ホームで実施している「超高効率燃料電池システム」のモデル事業で、省エネルギー効果を検証します。

区内に水素ステーションが立地していることを活かし、水素エネルギーの活用を検討します。

4 区の率先した取組【充実】

公用車は計画的に EV 等の電動車^{*}に切り替えます。

区立施設への再生可能エネルギー設備の導入を加速するとともに、使用する電力について、環境に配慮した調達を拡大します。

5 ごみの減量・資源化の推進【新規】

不燃ごみに含まれる金属類等を選別・資源化する不燃ごみ資源化事業を開始します。

プラスチックの資源循環を一層促進するため、国から示される手引きに基づき排出抑制や再資源化の取組を進めます。

^{*}電動車…電気自動車(EV)、燃料電池自動車(FCV)、プラグインハイブリッド車(PHV)、ハイブリッド車(HV)

令和4・5年度の取組

1 新たな環境基本計画の策定 ★

2050年までの脱炭素社会の実現に向け、「環境基本計画2020」に「エネルギービジョン」などの既存計画も組み入れ、新たな計画を策定します。

No. 15 - 1		年度別の取組計画		
令和5年度目標	令和3年度末の現況	令和4年度	令和5年度	計
新たな環境基本計画の策定	策定準備	計画の検討	策定・推進	策定・推進

2 区民や事業者との協働による脱炭素の取組の推進 ★

①太陽光発電設備等の設備設置や住宅の断熱改修などへの補助は、社会状況や技術開発の進展を反映した効果的な制度となるよう、対象設備や補助額の見直しを行いながら実施します。
②区民、地域、学校、事業者、民間団体等、あらゆる主体との協働により環境教育・啓発を推進し、省エネや省資源など脱炭素の行動につなげます。

No. 15 - 2		年度別の取組計画		
令和5年度目標	令和3年度末の現況	令和4年度	令和5年度	計
①再生可能エネルギー・省エネルギー設備の設置補助の充実	実施	充実	充実	充実
②区民・事業者等との協働による環境教育・啓発の推進	実施	充実	充実	充実

3 先進技術の導入・運用

①順天堂練馬病院に続き、移転・改築後の練馬光が丘病院と光が丘秋の陽小学校との間に「地域コージェネレーションシステム」を整備します。
②令和3年度から田柄特別養護老人ホームで実施している「超高効率燃料電池システム」のモデル事業で省エネルギー効果を検証します。また、事業者との協働による新たな先進技術の実証実験を検討します。

No. 15 - 3		年度別の取組計画		
令和5年度目標	令和3年度末の現況	令和4年度	令和5年度	計
①地域コージェネレーション ^{※1} の導入・運用	順天堂練馬病院	運用	運用	運用
	練馬光が丘病院	導入準備	導入	運用
②先進技術の活用	超高効率燃料電池導入効果検証	検証	検証	検証
	新たな実証実験の実施	検討	検討	実施 検討

※1 地域コージェネレーション・・・災害拠点病院が天然ガス等を燃料として発電した電力を、災害時に近接医療救護所に供給するシステム。

4 区の率先した取組

①公用車を計画的にEV等の電動車^{※1}に切り替えます。
②電力の調達に係る環境配慮方針の改定や、電力の契約方法見直しにより、区立施設の環境に配慮した電力調達を拡大します。
③区立施設の改修・改築等に合わせ、太陽光発電設備と蓄電池のセット導入を推進します。

No. 15 - 4		年度別の取組計画		
令和5年度目標	令和3年度末の現況	令和4年度	令和5年度	計
★①公用車の電動化の拡大	電動車 31台	9台	拡大	拡大
★②環境に配慮した電力調達の拡大	小中学校 98校 区立施設 63施設	一部中止 小中学校 98校 区立施設 3施設	一部中止 小中学校 20校 区立施設 3施設	拡大
③区立施設へ太陽光発電設備と蓄電池をセットで導入 ^{※2}	小中学校 計6か所 区立施設 計2か所	1 検討	1か所(計6か所) 検討	1か所(計6か所) 検討

※1・・・ 電気自動車（EV）、燃料電池自動車（FCV）、プラグインハイブリッド車（PHV）、ハイブリッド車（HV）
※2・・・ 事業費は事業No.4-7の事業費に計上しています。

5 ごみの減量・資源化の推進 ★

①不燃ごみに含まれる金属類等を選別・資源化する不燃ごみ資源化事業を開始します。
②すでに実施している容器包装プラスチックに加え、プラスチック資源循環促進法の制定を受けて、製品プラスチックの資源化について、国から示される手引きに基づき取組を進めます。

No. 15 - 5		年度別の取組計画		
令和5年度目標	令和3年度末の現況	令和4年度	令和5年度	計
①不燃ごみ資源化	施設整備 試行	実施	実施	実施
②プラスチック資源の分別回収・資源化	製品プラスチック	検討	調査・検討	調査・検討